

会誌「CHROMATOGRAPHY」論文投稿規程 (2020年4月1日改訂)

「CHROMATOGRAPHY」は、クロマトグラフィー科学会が発行する学会誌で、クロマトグラフィーや電気泳動などの分離と検出に関する論文を掲載します。「CHROMATOGRAPHY」に論文を投稿される際には、以下の規定に従って原稿を執筆して下さい。

1. 原稿の種類

掲載論文や記事などには原則として以下の5種類があります。

- (1) 原著論文 (Original Paper)
- (2) 短編論文 (Short Communication)
- (3) 総説 (Review, Focusing Review)
- (4) 短編総説 (Mini Review)
- (5) その他 (技術報告や特集企画関連記事など)

原著論文、短編論文(刷り上がりで約4頁)は未発表の新知見を含むものであり、他の学術誌に発表予定のないもので、和文または英文で書かれたものに限ります。一方、総説、短編総説(刷り上がりで約4頁)およびその他の原稿については、既往の報告内容を含んでも構いません。総説は原則として編集委員からの依頼に基づいて執筆されるものです。Reviewは当該領域を広く紹介したもの、Focusing Reviewは当該領域の中で著者の研究などに焦点を絞って紹介したものです。

2. 投稿

論文原稿を投稿する際には、(1)カバーレター、(2)タイトル・著者名・所属、(3)概要・キーワード、(4)本文、(5)引用文献、(6)記号説明、(7)表、(8)図の説明、(9)図などを内容に応じて取り揃えて下さい。なお、(2)から(9)はChromatography誌ホームページのテンプレートを利用して1個のファイルとし、原則として責任著者が投稿して下さい。

投稿方法は、MS-WordまたはPDF形式での電子投稿とします。ただしPDF形式の場合には、印刷作業の段階でMS-Word形式の原稿提出を依頼します。

投稿先: CHROMATOGRAPHY 編集委員長 浜瀬 健司
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州大学大学院薬学研究院
TEL/FAX: 092-642-6598
E-mail: scs_eo@chromsoc.jp

3. 原稿作成

3.1. 概略

クロマトグラフィー誌ホームページのテンプレートを利用し、テンプレートに記載のスタイルに従って作成して下さい。

3.2. カバーレター

原稿には、表題、投稿責任者の氏名・所属・連絡先住所(TEL, FAX, E-mail アドレスを併記)、利益相反の有無、および原稿の種類を明記したカバーレターを付けて下さい。

3.3. 論文表題(タイトル)、著者名および所属

表題は論文内容を的確に表すもので、適切なキーワードを含めるようにして下さい。略号の使用は避けて下さい。

全著者の氏名、実験が行われた場所およびその住所を記入して下さい。現在の所属が実験当時と変わっている場合は、脚注に現在の所属を記載して下さい。

和文論文の場合には、表題・著者名・所属および所属住所を和文で表記すると共に、それらを英文でも記述して下さい。これらは英文要旨の前に配置して下さい。

謝辞はタイトルや著者名の脚注として記載せずに、本文の最後に「謝辞」のセクションを設けて記載して下さい。

3.4. 英文要旨およびキーワード

200語程度の英文要旨を作成して下さい。また、英文要旨に引き続いて、3~7語のキーワード(英語)を記載して下さい。和文論文でも英文要旨のみを記述し、和文要旨は記載しません。

3.5. 本文

本文は適当なセクション(緒言、実験、結果と考察、結論など)に区切って執筆して下さい。

(1)緒言: 緒言には投稿論文の目的や新しく得られた知見などを、既に報告されている従来の研究との比較を交えて分かりやすく述べて下さい。

(2)実験: 他の人が追試を行うのに十分な実験条件を述べて下さい。

(3)結果と考察: 結果は表や図などを用いて分かりやすく述べて下さい。考察は得られた知見に対する解釈・説明を簡潔に述べて下さい。

(4)結論: 必要に応じて結論を付記することができますが、要旨や本文中で述べられた事項の単なるまとめとしないよう留意して下さい。

3.6. 文献

文献は本文中で引用された順に[]内に一連の番号を付けて表わし、リストを本文の最後にまとめて全て英語で作成して下さい。全著者の姓およびイニシャル、雑誌名(Chemical Abstracts Service Source Indexに準じた省略名)、発行年、巻数、始めと終わりの頁を記載して下さい。出版されていない引用文献は、“in press”(雑誌名記載)、“submitted for

publication" (雑誌名記載)、“in preparation”、“personal communication”などとして下さい。記載方法の詳細は The ACS Style Guide をご参照下さい。

書式の一例を以下に示します。

- [1] Nakagawa, T.; Terabe, S.; Tanaka, N. *Chromatography* **2000**, *21*, 621 - 630.
- [2] Baker, D. R. *Capillary Electrophoresis*, Wiley, New York, **1995**.
- [3] Koga, R.; Miyoshi, Y.; Todoroki, K.; Hamase, K. *Amino Acid and Bioamine Separations (Chapter 4)*, in Fanali, S.; Haddad, P. R.; Poole, C. F.; Riekkola, M. -L. (Eds.) *Liquid Chromatography (Vol. 2, Applications)*, Elsevier, Amsterdam, **2017**, pp. 87-106.

3.7. 謝辞

必要に応じて、実験補助、特別に提供された試薬などの入手先、補助金名称、学会発表情報などを記載して下さい。

3.8. 図および表

本文中に記載されたデータを単に繰り返して表記するだけの目的で図表を利用することは避けて下さい。

(1) 表：本文中での引用順にアラビア数字で番号を付して下さい (例: Table 1、Table 2)。ヘッダーとして表の番号に続けてタイトルを記載し、フットノートに実験条件などを記載して下さい。ヘッダー、フットノート部 (タイトル、条件など) は全て英語として下さい。

(2) 図(写真、構造式などを含む)：本文中での引用順にアラビア数字で番号を付して下さい (例: Fig. 1、Fig. 2)。

図の原稿は印刷に適した品質 (コントラスト) で作成して下さい。原則として投稿者の作図をそのまま掲載致しますが、作図の依頼を希望される方、あるいは投稿された図が著しく不適当な場合には実費 (グラフ 1 枚につき、2,000 円程度) で業者を紹介します。

カラーの図や写真は編集委員会が必要と認めた場合に限り、投稿者の追加負担により使用することができます。費用はページ数・色数によって異なります。

他の文献などから既に公表された図を引用する場合には、当該文献の著者あるいは出版者からの引用許可を投稿論文の著者自身が書面で入手して下さい。

3.9. 略記号など

The ACS Style Guide に準じますが、広く一般に受け入れられているものを使用して下さい。

略号を要旨及び本文に用いる場合には、それぞれ初出の時点で定義して下さい。その場合、正式の名称の後に略語を () 内に付記して下さい。

図表で使われる略号は、説明文で定義して下さい。

略記号の使用に際しては国際純正・応用化学連合 (IUPAC) の規程に従って下さい。

4. 投稿料

クロマトグラフィー学会会員 (筆頭著者、投稿責任著者または投稿連絡著者が投稿日時点において会員資格を有する) の投稿は無料ですが、図版トレース、写真、カラー印刷などについては別に実費を負担していただきます。非会員の方の投稿料は 30,000 円です (投稿時点で発生致します)。編集委員会からの招待原稿の投稿は無料です。

5. 別刷り

印刷物としての別刷りは原則として作製致しません。掲載された原稿は、全てクロマトグラフィー学会ホームページから無料でダウンロード出来ます。特に別刷り作製のご希望がある場合には、個別に事務局にご相談下さい。有償にて最低 100 部から作製をお受けすることが可能です。

6. 審査

投稿原稿の査読は複数の審査員によって行います。審査結果は投稿責任者宛に通知されます。

7. 受理原稿

受理 (accept) された論文は、最終の PDF 原稿を印刷に使用します。著者の責任で細心の注意を払って作成して下さい。

8. 著作権

「CHROMATOGRAPHY」に掲載された全ての内容の著作権は、クロマトグラフィー学会に属します。これらを引用する場合には、クロマトグラフィー学会の許可を得る必要があります。所定の様式 (転載許可申請書) に必要事項を記入の上、クロマトグラフィー学会事務局宛お送り下さい。

問い合わせ先：クロマトグラフィー学会事務局

事務局長 北川文彦

〒 036-8561 青森県弘前市文京町 3 番地

弘前大学理工学部物質創成化学科 北川研究室内

FAX : 0172-39-3946

E-mail : scs_secretary@chromsoc.jp

9. 倫理指針

ヒト試料を対象とした論文は「ヘルシンキ宣言」の倫理基準に、臨床研究を対象とした論文は「臨床研究に関する倫理指針」に、ヒト遺伝子を対象とした論文は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」等に従って執筆して下さい。動物を対象とした論文は、所属機関等の定めるガイドラインに従って下さい。いずれも、所属機関等の倫理委員会で承認を受けて実施された研究に関する論文のみ、投稿を受け付けます。当該研究がこれらに従って実施されたことを本文中に明記して下さい。

10. 利益相反

利益相反 (Conflict of Interest) が存在する場合、利益相反

に関する情報開示が必要です。利益相反に関する情報は、本文の一番最後（引用文献の前）に「利益相反」という見出しを付けて記載して下さい。

11. その他

編集委員会が特に必要と認めた場合には、特別掲載としてその掲載順位を優先させることがあります。